

# 火災予防編



火災はちょっとした不注意で起き大切な命や財産を奪ってしまいます。日ごろから何に注意すればよいか、また万一火災が起きたときにはどうすればよいかについて「わが家の防火対策」を万全にしておきましょう。

# 火災を防ぐには!

## 放 火

### ●過去の放火火災事例

#### 乗用車の 火災事例

午前3時ごろ発生

屋外駐車場に駐車されていた  
乗用車に放火

乗用車一部焼損



#### マンションの 火災事例

午前5時ごろ発生

マンションのエレベーターホール  
に侵入し、朝各戸に配達するため  
に置いてあった新聞に放火

配達用の新聞が一部焼損



#### 住宅の 火災事例

午後11時ごろ発生

住宅の裏にある施錠されていない  
物置に侵入し、物置の内部に  
放火

物置が全焼し、物置と隣接  
していた住宅が半焼



#### 倉庫の 火災事例

午後7時ごろ発生

施錠されていない倉庫に侵入し、  
放火

倉庫全焼

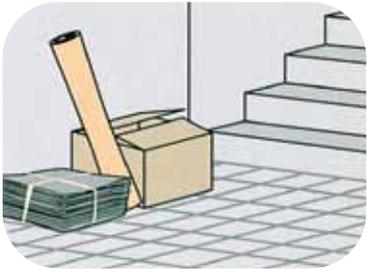
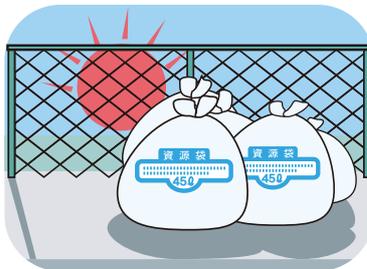


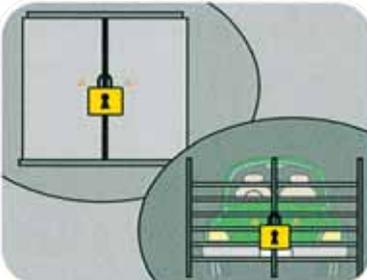
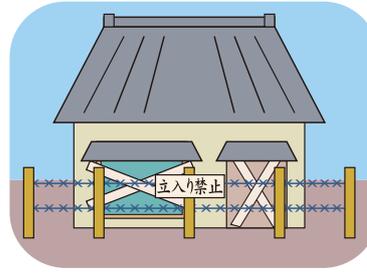
# あなたの家庭や町を放火火災から守るために

放火火災は、たばこによる火災やコンロによる火災など、人のちょっとした不注意から起きる失火とは異なり、人が火をつけるという意志を持って発生する火災です。

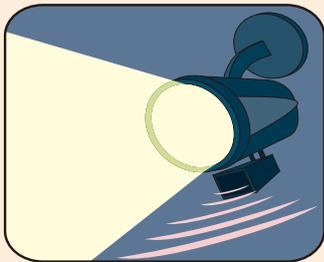
この放火火災を防止するために次の対策を実施しましょう。

## 主な放火対策

- 1 家の周囲、共用部の廊下及び階段に燃えやすい物を置かない。  

- 2 資源・ゴミは収集日の朝に出す。  

- 3 屋外灯を点灯する。  

- 4 物置、車庫には必ず鍵をかける。  

- 5 空家の侵入防止措置をする。  

- 6 隣近所で声をかけ合う。  

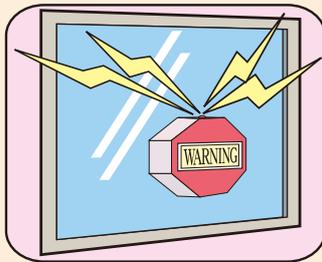
- 7 防災機器を活用する。(監視性を高めるには、次のような防災機器の活用が効果的です。)



**センサー付ライト**  
周囲の明暗や人の動きを検知して、明るくします。

**設置場所例**

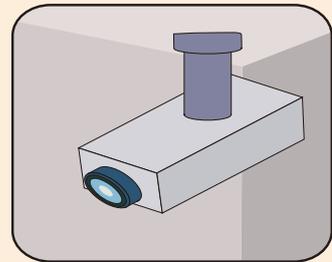
- 1 建物外周部(全建物)
- 2 物置・車庫(住宅)
- 3 屋外共用部(共同住宅など)
- 4 置場(店舗・工場・作業所など)



**センサー付ブザー**  
ドアや窓に取り付け、侵入しようとする音が鳴ります。

**設置場所例**

- 1 建物の出入口・窓(全建物)
- 2 物置・車庫(住宅)



**監視カメラ(ダミーカメラ)**  
監視されていることを相手に意識させる効果があります。

**設置場所例**

- 1 屋内共用部(共同住宅・事務所)
- 2 屋内駐車場(共同住宅・事務所)
- 3 建物内部(倉庫・工場・作業所など)

- 8 消防車のサイレンが聞こえたら窓を開けて周りを確認する。



このような放火対策を各家庭で行い、地域においては「自分たちのまちは、自分たちで守る」という意識をもって、地域ぐるみで「放火されない環境づくり」に努めることが放火対策の重要なポイントです。

## 町が危ない。 さあ、みんなで放火犯に立ち向かおう。

放火火災は、深夜に多く発生し、人目のつかないところがねらわれます。すなわち、発見するのが遅れ、大規模な火災に発展することが多いのが傾向です。逃げ遅れるのは高齢者等の災害時要援護者です。憎むべき犯罪であり、放っておくことはできません。

**“狙われるのは、深夜から  
早朝にかけて!”**



放火防止決起大会(名東区)

### 放火防止の巡回・広報活動

放火火災防止には最も効果的です。

地域が目を光らせていることで、放火の抑止につながります。

巡回・広報を実施することにより、住民にも放火防止の啓発ができます。なるべく多くの人で計画的に巡回・広報を実施すれば、さらに効果的です。



### 地域ぐるみで放火されない環境づくり

放火されそうな場所のチェック



明るくする



## タバコ

火災による死者の多くは、タバコの火などの小さな火種がふとんや灰皿などでくすぶり、その後、燃え広がることで起きています。

### 注意するポイント

- 寝タバコは絶対にやめましょう。また、飲酒酩酊状態での喫煙も大変危険です。
- タバコは必ず灰皿のある場所で吸い、くわえタバコで歩き回るのはやめましょう。
- 吸い殻はくすかごには捨てずに、水をかけてから生ゴミ等と一緒にこまめに捨てましょう。
- 灰皿はふちが大きく深めのものでいつも水を入れておきましょう。また置く位置を決め、その周りを常に整理整頓しておきましょう。



## コンロ

住宅内の火災の多くはコンロによるもので、中でも最も多いのは天ぷら油火災です。また出火原因では、「揚げものをしていたときに、電話や来客に対応し、火を消さずにその場を離れたため、天ぷら油が過熱されて出火した。」というものが大部分を占めています。

### 注意するポイント

- コンロ使用時に離れる場合は、必ず火を消す。
- コンロの周りや上方には、燃えやすい物を置かない。
- コンロを使うときの衣服は、着火しやすい毛羽立ちの多いものや広がったデザインのもの避け、袖口や裾などに火が着かないよう気をつける。
- 魚などを焼くグリル部分は、グリル内部の炎が見えにくいいため、消し忘れに注意する。
- カセットコンロを使用する場合は、カセットボンベを確実に装着するとともに、製品に書かれた注意書きをしっかりと守る。



## 電気器具・コード

家庭での電気に関連した出火原因は、コードの断線、タコ足配線、トラッキング現象などによる発熱です。電気製品のコード類が適正な状態で使用されているか確認しましょう。

### 注意するポイント

- 電気コードの上に家具などの重い物をのせない。
  - コンセントに差したままのプラグにほこりがたまるように、定期的に掃除する。
  - タコ足配線をしない。
  - 電気コードを折り曲げた状態や束ねたまま使用しない。
  - 延長コードは、電気容量に合ったものを使用する。
  - 電気ストーブやドライヤーなど熱を出す器具は、使い終わったらコンセントからプラグを抜いておく。
  - 長年使用している電気製品等は、異常があれば使用を止めて専門業者に点検や修理を依頼する。
- ※お近くの電気工事店に依頼し、ご自宅の安全ブレーカをコード短絡保護用瞬時遮断機能付安全ブレーカに交換することも有効です。



## ストーブ

ストーブは、居室内で直接炎が出たり、表面が高温になるため、ちょっとした不注意が火災につながります。

### 注意するポイント

- ストーブの上や周りに可燃物を近づけない。特に、ストーブの近くで洗濯物を干さない。
- 石油ストーブに給油する時は、必ず火を消す。
- 部屋に誰もいないときは、ストーブを必ず消す。
- ストーブをつけたままで就寝しない。
- ストーブの周りにスプレー缶などの危険物などを置かない。



## 火遊び

火遊びを絶対にさせないため、小さな子供たちには、火の大切さと火の恐ろしさなど、正しい知識を教えましょう。

### 注意するポイント

- 家の中、車の中にライターを放置せず、子供の手の届かない場所に保管する。
- 子供にライターを触らせたり遊ばせないようにする。
- 利用しなくなった不要なライターは廃棄する。
- 小さな子供だけを残して外出はしない。
- 子供だけで花火はさせない。



# 万一火災がおきたら

火災を見つけたとき、まず必要なことに「119番通報・初期消火・避難」がありますが、これらの優先順位は火災によって違ってきます。

◆例：一人でいるときに火災になったら、「火事だ！」と大きな声で叫び、

- ・初期消火ができると判断した場合

→ 初期消火 → 119番通報

- ・初期消火ができないと判断した場合

→ すぐに避難 → 119番通報



## 119番通報



「火事ですか、救急ですか？」・・・「火事です」または「救急です」  
「場所はどこですか？」・・・「こちらは〇〇区〇〇町  
〇番地〇〇〇マンション  
〇〇階〇〇号室です」  
「あなたのお名前は？」・・・「わたしは〇〇〇〇です」



■119番通報は、慌てず落ち着いて通報することが大切です。

■速やかに119番通報ができるように、電話機の周りに住所などをかいたメモを貼っておきましょう。

## 初期消火

初期消火の限界は、一般的に「天井に炎が達する前まで」です。それまでに消火する必要があり、消せなかった場合に備えて、退路を確保して初期消火を行います。



## 避難

■子供や高齢者がいるご家庭では、火災を発見したら家族を速やかに避難させましょう。

■初期消火ができなかった場合、命にかかわることがありますので速やかに避難してください。

■炎が天井に着火すると、30秒から1分程度で、爆発的に燃焼するフラッシュオーバーという現象が発生するおそれがあります。炎が背丈を超えたら避難を始めましょう。

■一度避難したら、絶対に家の中には戻らないでください。

### 〈火より恐ろしい煙〉

建物火災で死に至った経過を見ると、火傷による死者より、一酸化炭素中毒などによる死者の方が多くなっています。避難するときは、姿勢を低くし、ハンカチやタオルを鼻と口にあて一刻も早く煙から逃れることが大切です。※煙は階段などの縦方向に一気に広がっていきます。

# 日頃の備えを！

いざという時のため、住宅用消火器や住宅用火災警報器などを備えたり、燃えにくい材質の防災品を使用すれば、火災の被害を最小限に食い止めることができます。

## 火災を早く発見するために

### 住宅用火災警報器

全ての住宅に、住宅用火災警報器の設置が法律や条例で義務付けられています。《P79～P81で詳しく説明します。》



## 火災を早く消すために

### 住宅用消火器

軽くて、取扱いが簡単な住宅専用の消火器です。



### エアゾール式簡易消火具

片手で素早く使えるスプレー式で、天ぷら油などの火災に威力を発揮します。



主な購入先：ホームセンター・防災機器取扱店など

## 火災を拡大させないために

### 防災品

寝具や衣類など、火が着いても燃え広がりにくいので安全です。



防災カーテン



防災じゅうたん



防災ふとん

●防災品のお問い合わせ先：日本防災協会名古屋事務所  
☎ 052 - 321 - 4344



火災予防編

# 住宅用火災報知器を 設置していますか？

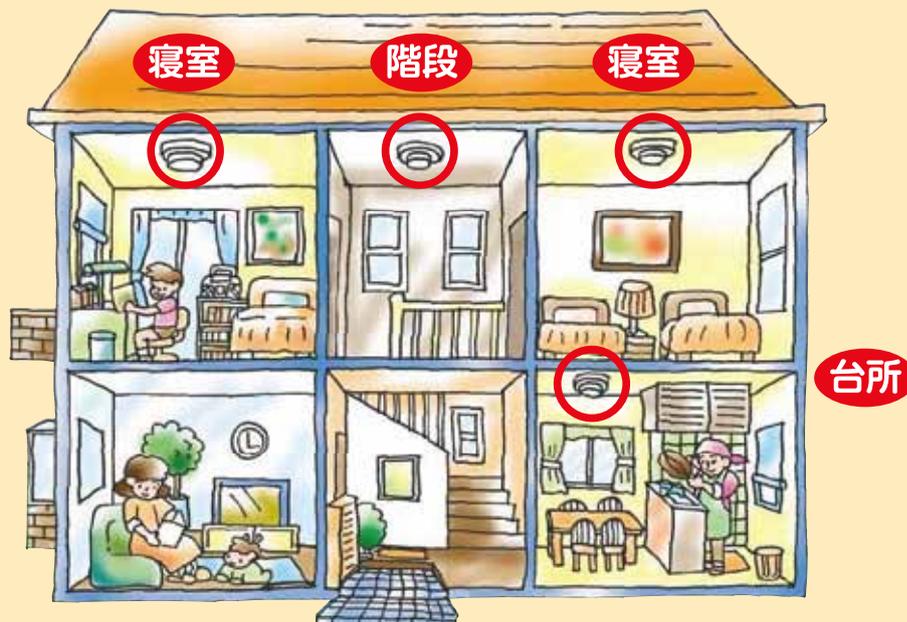
住宅用火災警報器は、消防法と火災予防条例により、「台所」、「すべての  
寝室」と「寝室が2階にある場合の階段」に、設置が義務付けられています。

## 共同住宅※の場合



※マンション・アパート等

## 戸建住宅の場合



問い合わせは

名古屋市消防局予防課 TEL972-3524

# 住宅用火災警報器は 10年を目安に交換をお願いします。

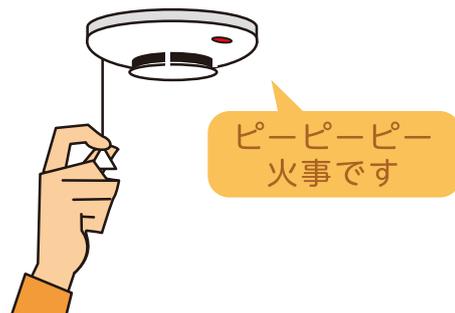
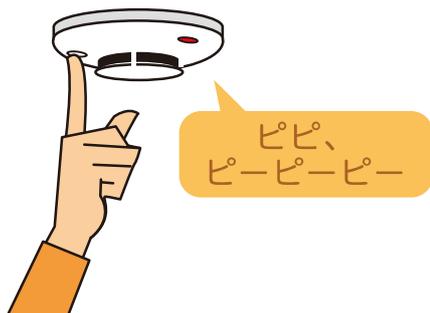
住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に交換をお願いします。

## 定期的に作動確認し、音を聞きましょう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

### 正常な場合は？

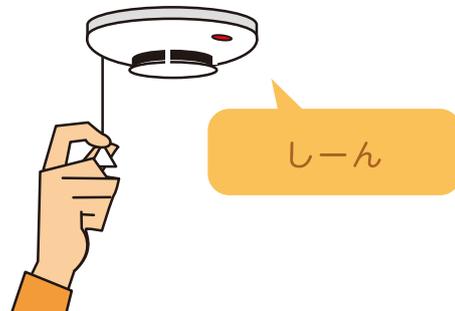
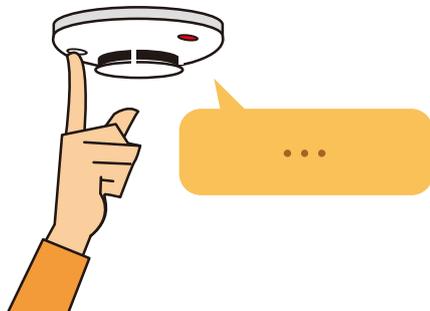
正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音がなります。



※警報音はメーカーや製品により異なります。

### 音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

ご注意

火災警報器の種類によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ずご覧ください。

# 住宅用火災警報器の取り付け方の例



住宅用火災警報器は、天井又は壁のどちらかに取り付けます。  
(詳しくは、各機器の取扱説明書をご確認ください。)



① 本体から、うら側の板(取付板)を外します。

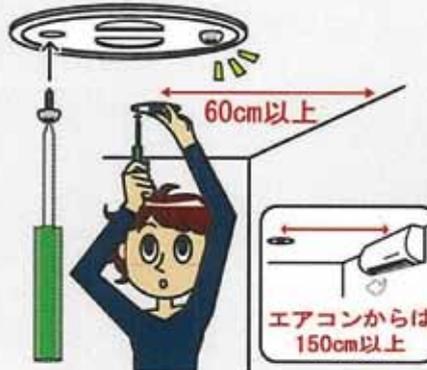


② 本体に付属している電池のコネクターを差し込みます。  
(これで電源が入ります。)  
※コネクターのない機器もあります。

## そもそも、どこで購入するの？

家電量販店・ホームセンター・電気店などで購入することができます。

## ●天井に取り付ける場合

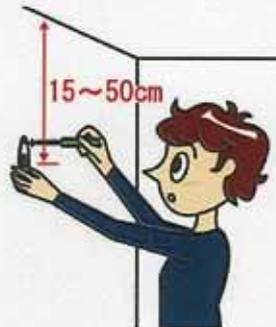


③ 壁や梁(はり)から60cm以上  
エアコンから150cm以上  
離れた位置に、うら側の板を  
付属のビスで取り付けます。



④ 取り付けた板に本体をはめます。  
これで取付け完了です。

## ●壁に取り付ける場合



③ 天井から15cm~50cm  
離れた位置に、うら側の板を  
付属のビスで取り付けます。



④ 取り付けた板に本体をはめます。  
これで取付け完了です。

## 自分で取り付けできない場合はどうするの？

家電販売店やホームセンターなどでは、取り付けサービス(有料)を行っているところがありますので、購入時等にご相談ください。

その他、名古屋市シルバー人材センターでも取り付け作業(有料)を行っています。お気軽にご相談ください。

### ●名古屋市シルバー人材センターのお問い合わせ先

お住まいの区	支部名	電話番号
昭和・瑞穂・緑・天白	東部支部	842-4694
北・西・中村・中	西部支部	524-2181
熱田・中川・港・南	南部支部	671-3161
千種・東・守山・名東	北部支部	938-3628

人材センターへのお問い合わせは、お住まいの区ごとに担当する各支部へお願いします。

# こんな消火器は絶対に操作しないで下さい。

破裂する危険性があります!



消火器には使用期限（耐用年数）が定められていて本体に表示されています。期限内でも、次のような消火器は操作時に破裂する危険性がありますので、絶対にご自分で放射や分解などの操作をしないで下さい!

- 消火器本体容器に、さび、腐食が出ている。
- 消火器本体容器に、へこみや変形した部分がある。
- 操作レバーが変形している。
- 蓋（キャップ）の部分が破損している。
- ホースの脱落やひび割れがある。
- 圧力ゲージの表示が規定値内（緑の部分）にない。（圧力ゲージのある消火器に限る。）

※操作しない限りは消火器自体が自然に破裂することはありません。

本体容器



操作レバー



蓋（キャップ）



ホース



圧力ゲージ

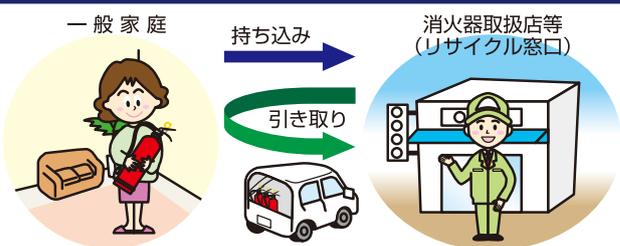


## ●老朽化した消火器の処分方法は？

※資源や、ゴミとして出さないようにして下さい。

### 廃消火器リサイクルシステムの活用

消火器の安全な回収とリサイクルを推進するための新システムで、どのメーカーの消火器でも各地域にある消火器取扱店等（リサイクル窓口）に、廃棄する消火器を持ち込むか、自宅まで引き取りを依頼し処分することができます。（どちらも有料）



消火器取扱店等は、(株) 消火器リサイクル推進センターのホームページ (<http://www.ferpc.jp/>) のリサイクル窓口で検索するか、お近くの消防署予防課までお問い合わせ下さい。

### ホームセンターでの交換

ホームセンター等では消火器を1本購入すると、無料で1本古くなった消火器を引き取るサービスを行っているところもありますので、各ホームセンターにお問い合わせ下さい。



### 「ゆうパック」を利用した家庭用の消火器の回収・リサイクル

問合せ先：0120-822-306（エコサイクルセンター）  
受付時間：10～12時、13～17時（土、日、祝日、センターの指定定休日は除く）

